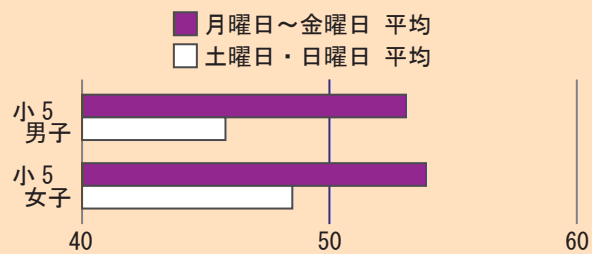
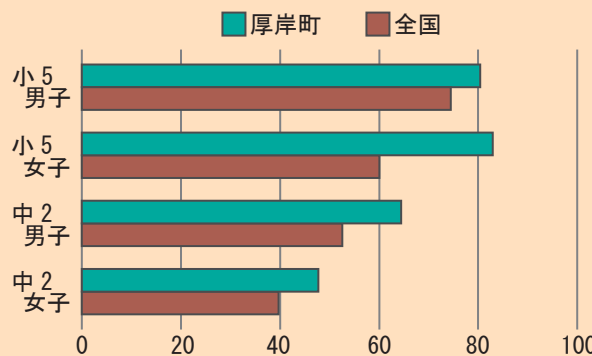


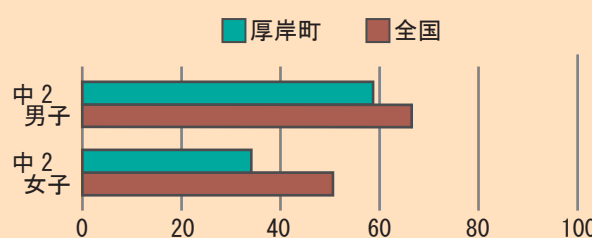
◆運動時間 (全国を50としたとき)



◆体育の授業は楽しい



◆中学校卒業後、自主的に運動したい



小学生 体力・運動習慣状況

小学校5年生の女子は、8種目中7種目で全道平均を上回り、5種目で全国平均を上回っています。男子も3種目で全国平均を上回るなど、年間を通した体力づくりや、準備運動に補強運動を取り入れたことが、成果として表れています。

また、練習を重ねること大きな伸びを見せた実技もあることから、基礎練習やバランスのとれた体力づくりを体育の授業や日々の体力づくりに取り入れていくことが、これからの課題としてあげられます。

男女とも『運動が好き』と回答した児童の割合が全国・全道平均を上回っている一方で、平日に比べ、土曜日と日曜日の運動量が少ない傾向にあります。休日の過ごし方について、見直す必要があります。

中学生 体力・運動習慣状況

体格(身長・体重)は、男女ともほぼ全国平均です。体力では、男子が長座体前屈で全国・全道平均を上回ったものの、それ以外の種目は、男女ともに全国平均を下回りました。

『体育の授業は楽しい』と答えた生徒の割合は男女ともに高く、また、『自分で練習することで、できなかったことができるようになった』と答えた生徒の割合が、全国・全道に比べ高いことから、不得意なことを克服しようとする姿勢が見られます。

しかし、『中学校卒業後、自主的に運動したい』と答えた生徒の割合が、男女とも全国・全道平均に比べ低いことから、日常的に健康に関心を持ち、意識的に運動に取り組むことが課題です。

# 厚岸っ子の体力の状況をお知らせします

町内の小学校5年生と中学校2年生を対象に、1学期に実施した全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果をお知らせします。本調査では、実技に関する調査(小学生8種目、中学生9種目)のほか、運動や生活習慣をとらえるための質問紙調査(アンケート)を行っています。この調査で把握できる体力・運動能力や運動習慣の状況は特定の一部分ですが、調査結果から学校教育活動の状況や児童生徒の体力の状況、傾向をとらえることで、今後の教育活動の改善をすすめていきます。

【全国体力・運動能力、運動習慣等調査の概要】

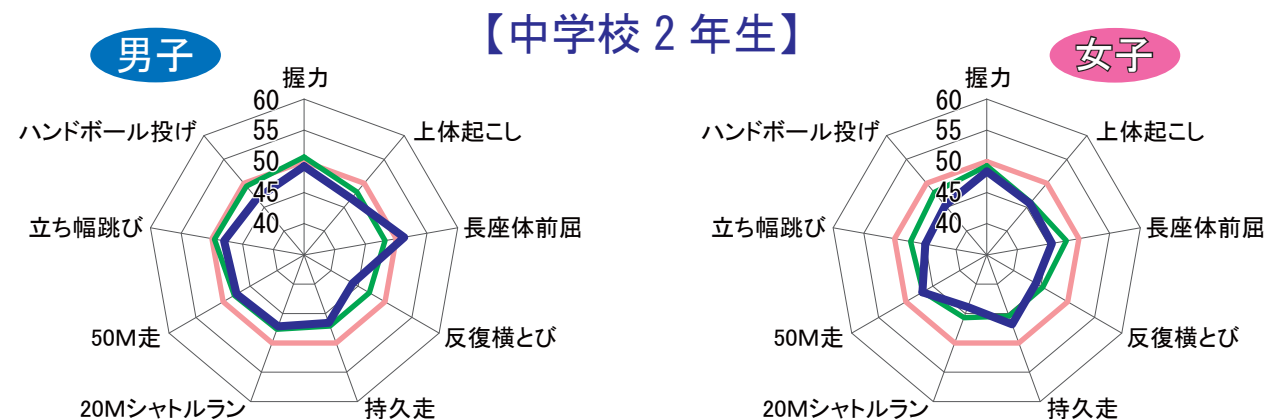
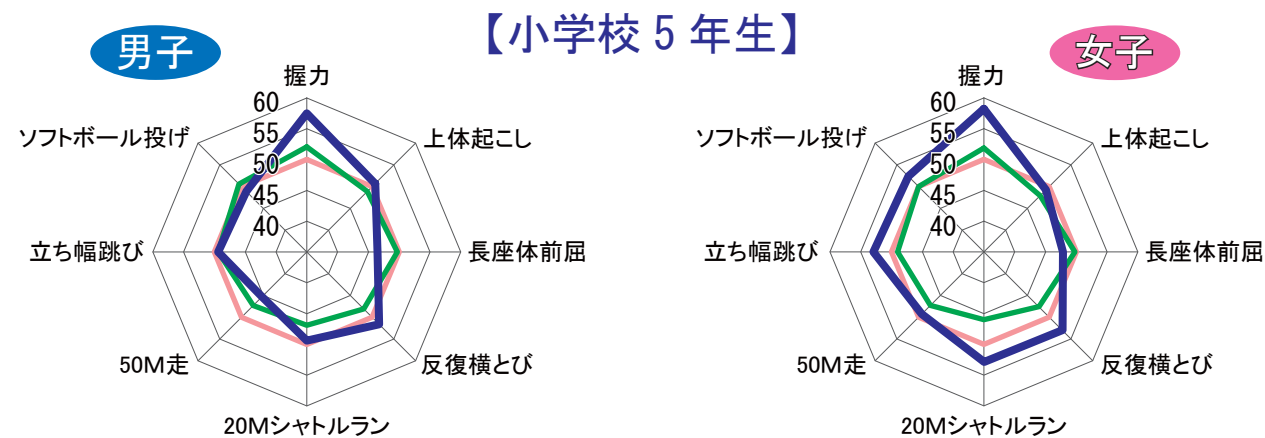
- 調査期間 平成26年 1学期間
- 調査対象 小学校5年生…男子58人、女子41人  
中学校2年生…男子44人、女子45人
- 調査内容
  - 実技に関する調査  
握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20Mシャトルラン、50M走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ(中学生はハンドボール)、持久走(中学生のみ)
  - 質問紙調査(運動習慣・生活習慣アンケート)



厚岸町小学生体力測定会 50M走

【調査結果】

●厚岸町 ●全道 ●全国のT得点比較(全国を50としたときの偏差値)



## 『わかる』『できる』を実感して体力UP

学校では

- 安定した人間関係づくりに努めます。
- 学校の様子をわかりやすく保護者に伝えます。
- 【授業では】
- 運動量を確保し、年間を通した体力づくりをすすめます。
- 補強運動を取り入れるなど、準備運動を工夫します。
- 持久走など、多少困難性のある種目を積極的に取り入れます。(中学校)

教育委員会では

- 町内の体力・運動能力、運動習慣等の結果を分析し、成果や課題から改善策を提示します。
- 小学校の体力測定会や少年団の体力測定会を進めていきます。
- 体力向上の研修の機会を増やし、授業力を高めます。
- 体育館やプールなど町内の運動施設の積極的な活用を進めます。

家庭では

- テレビゲームや携帯電話などのルールや使い方を家庭で決め、しっかり守らせましょう。
- 休日や長期休業中の過ごし方について、親子で話し合しましょう。

●問い合わせ／教育委員会指導室(役場内) ☎内線351